



皆野中だより

臨時号



令和5年3月7日発行 第15号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076

【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】「主体性」「社会性」「将来性」を培う生徒の育成
～人とつながる・人をつなぐ・人につなげる学校～

生徒数 1年86名 2年71名 3年82名 合計239名

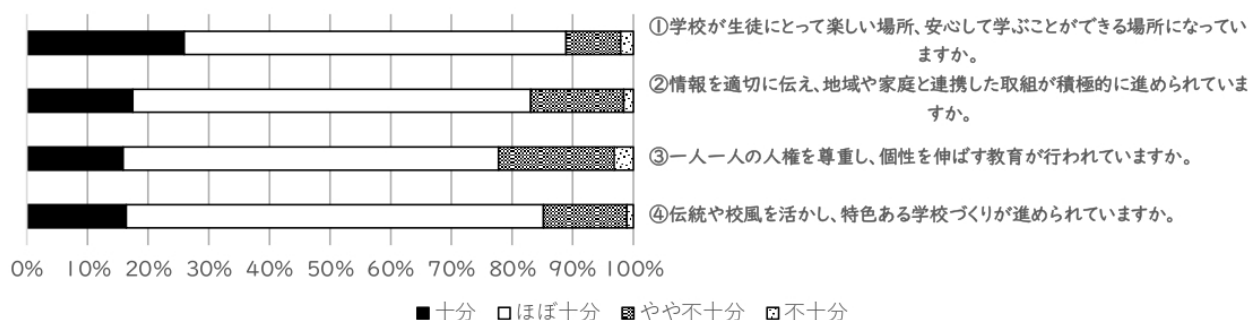
学校関係者による評価（結果と考察）

昨年12月に実施した保護者の皆様による学校評価、今年1月に実施した学校運営協議会委員の皆様による学校評価がまとまりました。いただいた提言を今後に生かせるよう取り組んでまいります。皆様のご協力に感謝申し上げます。

★保護者の皆様による学校評価

1 集計数 全校回答数 189 / 239 全校回答率 79.1%

2-(1) 学校の教育全般について

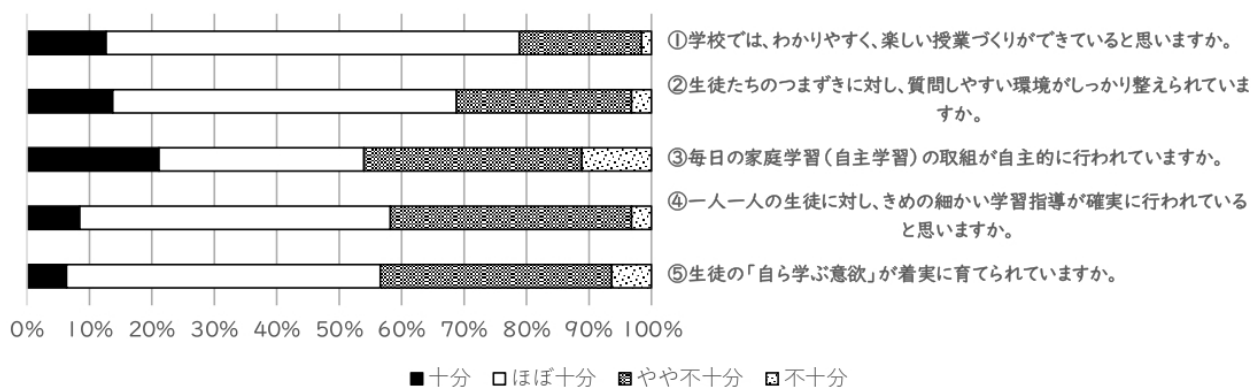


・ 俳句教室はとてもよい授業であるというご意見をいただきました。今後、継続的に実施する予定です。

・ 各学年の様々な行事連絡など、家庭への連絡が遅いというご意見をいただきました。学校からの便り、れんらくアプリ、HPを利用しながら、遅くならないよう連絡していきます。

・ 文化部系の部活動がもう少しあるとも良いというご意見をいただきました。現在、生徒数減少に伴い教員数も減少しています。部活動に単独で複数の顧問を配置できない状況となっており、既存の部活動を減らすか、又はさらに外部指導員を活用していくかを検討しております。部活動を現状の数より増やすことについては難しい状況となっております。いただいたご意見も参考としながら部活動の再編成について考えていきます。

2-(2) 学力向上の取組について



・学習意欲を育てていただきたいとのご意見をいただきました。本年度より4人グループを授業の中で取り入れ、わからないことを聴き合う協働学習を実施し、一人残らず学びに参加できる授業づくりを行っています。生徒にとって興味のある課題を取り入れたり、授業の中で褒めたり認めたりすることで、生徒の学習意欲が向上するように取り組んでいます。

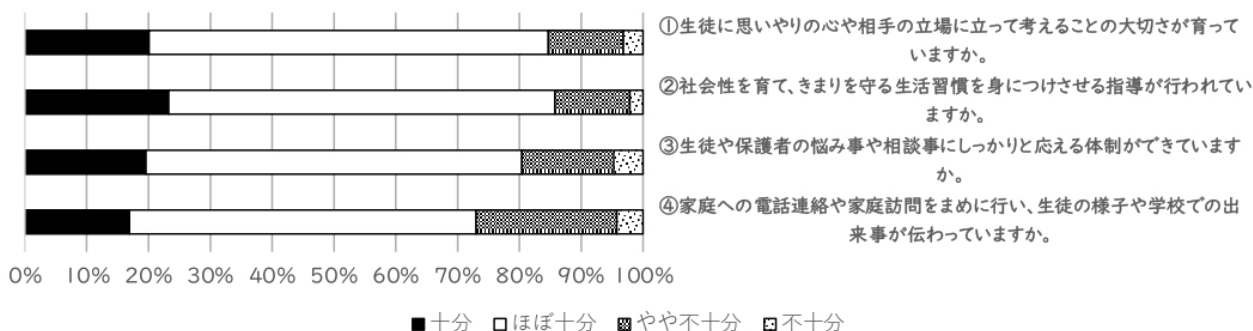
・質問をしやすい雰囲気をつくって欲しいとのご意見をいただきました。日頃より生徒との信頼関係を構築する中で、授業の中でわからなかったら質問できる環境をつくっていきます。また定期テスト前の放課後に、各教科ごとに質問できる機会をつくっていきます。欠席するなど授業内容が理解できていない生徒についても、質問できる環境を整えていきます。

・皆野町自主学習ノートを活用できることは有り難いとのご意見をいただきました。来年度も皆野町自主学習ノートを活用し、家庭学習の定着を図ってまいります。アンケート結果より家庭学習の取組について課題がみられました。プリントを用意したり、工夫して取り組んでいる自主学習ノートを掲示したり、自主学習の計画を立てたりなど、家庭学習を自主的に取り組めるようにしていきます。

・体験学習を多く取り入れて欲しいとのご意見をいただきました。県立長瀬自然の博物館やジオパーク秩父などと連携を取り、理科や総合的な学習の時間の中に体験学習を取り入れられるよう検討していきます。

・漢字検定や数学検定を学校で受験できるようにして欲しいとのご意見をいただきました。各検定の実施上の課題として、「受検者数を一定数以上確保することが必要」「実施する日や時間帯（土日か放課後の実施）の検討」、「運営する人材の確保」となります。英語検定については町より補助が出ていることから、一定数以上の受検者数が見込まれています。土日に実施し、本校英語教員・事務職員、町教育委員会指導主事、小学校教員が英語検定運営に関わっています。実施には多くの課題がありますが、各教科担当者が実施の有無について検討していきます。

2-(3) 生徒指導・教育相談の取組について



・顧問がよく連絡をくれ、あらゆる面でサポートしてくれ感謝しているとのご意見をいただきました。

・やりとり帳は、生徒から気持ちを伝えることができ、また教員からコメントを書いてくれるので、本人の励みになっているとのご意見をいただきました。

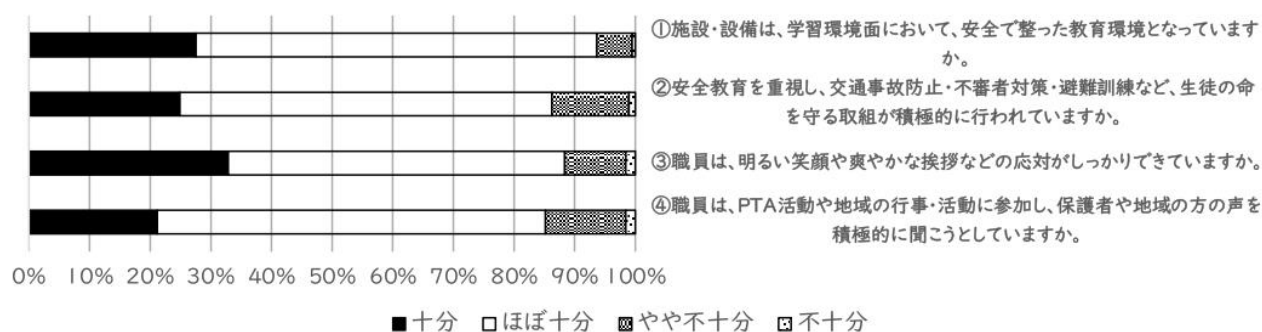
・スマホの使い方についてもっと危険を教えて欲しいとのご意見をいただきました。引き続き各学級担任や、技術科の授業等でスマホやネット等の危険性について指導していきます。また来年度は、スマホやネットに関する安全教室を実施する予定です。

・部活動に不安を感じているとのご意見をいただきました。生徒に寄りそい、生徒の意見に耳を傾け、生徒のやる気を起こさせるよう、部活動を運営していきます。

・昔から残る校則（髪型・服装等）を現在に合わせても良いのではないかとのご意見をいただきました。髪型や服装については、現在の状況を考慮し見直していきます。

・問題に対しての対応はとても良いが、その後や結果について何も知らされないとのご意見をいただきました。その後や結果についてもしっかりと伝えるよう改善していきます。

2-(4) その他の教育活動について



4 自由記述欄

【部活動について】

- ・部活動の外部指導者や廃部のすすめ方など、生徒や家庭にとっては不安があり、子どもたちの可能性ややる気を潰すことのないようにしていただきたい。
- ・安全面に配慮して部活動をしっかりと監督して欲しい。
- ・魅力ある学校にするために、部活動を魅力あものにして欲しい。
- ・地域では陸上練習に参加する小学生が増えているので、陸上部の存続を強く希望する。

【学校より】

「子どもたちの可能性ややる気をつぶさない」、「安全面に配慮した部活動運営」、「魅力ある部活動」、このような部活動となるよう全職員で取り組んでいきます。また陸上部につきましては、令和6年度の新入学生から募集をしない方向で考えています。しかし陸上部が廃部となっても大会には参加ができますので、地域で陸上の練習をしている生徒などを対象に、大会への参加を検討していきたいと考えています。

・登下校の安全面が心配で、不審者や野生動物との遭遇を考えると、全員自転車通学にできないでしょうかとのご意見をいただきました。現在駐輪場に置ける台数に制限があり、全生徒が利用できる駐輪場とはなっていません。現状では全員自転車通学は難しいと考えています。

・後援会のお金の使い方について、部活動の補助費の内訳や分配方法を教えて欲しいとのご意見をいただきました。部活動補助費は、部員一人当たり700円としてその部員数によって決定しています。その部活動補助費は、各顧問に分配され、部活動内で必要な経費に利用している状況となっています。またその他に、公式大会の交通費以外に必要な経費にも使っています。現状では、部活動補助費のみでは、部内で利用する高額な道具等は購入できない状況となっており、保護者の皆様にご負担をいただいている状況もございます。今後は部活動で特に必要な道具等の購入について後援会へ要望を出し、購入のご判断をいただく機会をもうけたいと考えています。

★学校運営協議会委員の皆様による学校評価

1	学校教育目標	「主体性」・「社会性」・「将来性」を培う生徒の育成
2	校訓	剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ
3	めざす児童生徒像	「主体性」自ら考えて行動、積極的な行動や発言、知的的好奇心・探究心・協同力、「やります!」という、周囲の人の気持ちを考える生徒 「社会性」仲間と協力的な生活を共にする、学校生活を楽しむ、元気な挨拶と温かな声かけ、3～4人の協同学習、「質問」できる生徒 「将来性」好奇心・読解力・語彙力・思考力、ふるさとを愛しふるさとを大切に、自他の生命をかけがえのない命を大切に、人の役に立ち人から感謝され人から認められる、学習上または生活上の困難を改善克服できる生徒
4	めざす学校像	生徒が 安心して学べる学校 温かな人間関係で結ばれる学校 自己有用感を高められる学校
5	めざす教師像	①一人一人の生徒を理解し、つなぐことのできる教師 ②生徒や保護者が抱える教育上の課題や困難に対し、必要な支援や援助のできる教師 ③教育への情熱を持ち、新たな学び・対話型の授業を展開できる教師 ④生徒を肯定的に見て、寄りそうことのできる教師 ⑤使命感と情熱を持ち、豊かな人間関係をつくることのできる教師 ⑥報告・連絡・相談・確認を迅速に行い、組織的に対応することのできる教師
6	評価 価	評価基準 5…よく当てはまる（9割以上の達成状況） 4…概ね当てはまる（6割以上9割未満の達成状況） 2…どちらかというと当てはまらない（2割以上6割未満の達成状況） 1…あてはまらない（2割未満の達成状況）

評価の柱	評価項目	評価	学校関係者評価（文章表記）
教育目標	学校は、教育目標の具現化に向け、組織的・計画的に努力している。	4.5	・昔は町中ですれ違う生徒も挨拶してくれましたが少なくなりました。 ・保護者・教職による評価を見ると、全体的にR3よりR4の方が下がっているのが気になります。 ・課題に対して、学校全体で努力されていると感じます。先生方は丁寧に熱心だと思います。 ・先生方が毎年目標やテーマを決めて、その方針に沿った目標や便りを作り、目標の具現化に取り組んでいただけていると感じます。 ・夢・志発表会は大きく評価できる。教職員・生徒・どちらも大変と思うが、継続を期待する。
学校運営	学校は、環境整備に努め、備品の管理、清掃活動や校内掲示等によく取り組んでいる。	4.7	・いつ訪問しても整備されており、きれいだと感じます。 ・校舎内外とも、きれいに清掃され、掲示物等物品も整えられており、さわやかに感じられます。 ・清掃や掲示物に関しては、生徒をうまく巻き込んで、取り組んでいただけていると感じます。 ・生徒も積極的に清掃しているように見受けられる。掲示物も多く、興味深く拝見しました。
学校運営	学校は、安全・安心な学校づくりのための活動によく取り組んでいる。	4.5	・コロナ感染症予防、登下校の不審者対応など、様々な課題がありますが、丁寧に対応していると思います。 ・大きな事故はなく、日々の安全確保の取組に努力されていると思います。 ・授業や校外活動において、コロナ関係やその他の安全面をまず一番に考慮して、生徒の安心・安全を第一優先に、何事も取り組んでいただけていると感じます。 ・施設も明るく教職員と生徒の会話も明るい。現状以上に何に取り組んだら良いのか難しいが、探求して行って欲しい。
学校運営	教職員は、学力の向上にむけて、授業の工夫改善に努めている。	4.6	・玄関ホールや廊下に展示された生徒作品は素晴らしいものばかりで、生徒の可能性を伸ばす指導が行われていると感じました。 ・学力に対して保護者評価が低いのは、先生方の授業改善が結果に反映されていないのでしょうか。 ・生徒に丁寧に接し、声を掛け、生徒の学ぶ意欲を伸ばす授業の工夫に努められていると思います。 ・生徒の個性や理解力レベルがまちまちなのに加え、この3年間は欠席者も多くならざるを得ない状況の中、先生方は様々な工夫をしていただけていると感じます。 ・生徒に考えさせて、発言させる事に尽力していると感じる。

評価の柱	評価項目		評価	学校関係者評価（文章表記）
教育指導	知	生徒は、落ち着いた雰囲気の中で意欲的に学習に取り組んでいる。	4.5	・俳句が皆中学生の学校生活の一部となりつつあるようです。「皆中と言えば、俳句」となって欲しいです。 ・生徒は落ち着いていると感じます。意欲的に学習に取り組んでいるかは判断しかねます。 ・生徒はそれぞれ目標を持ち、努力する姿勢が定着しているように感じられます。 ・学校へ出向いたり、学校の様子を聞くと、はめをはずす子がいたり、休み時間と授業の切替ができていない生徒もいるようです。 ・積極的に意見、発表ができ、話も良く聞いている。
	徳	生徒は、場に応じたいい言葉づかいができている。	4.5	・あいさつもよくできます。中学生らしい丁寧な言葉遣いもできています。 ・礼節が身に付いている生徒が多いと感じます。 ・個人差はありますが、しっかり受け答えできる子と俗に言う「ため口」になってしまう子がいるようです。 ・とてもよくできている。
	体	生徒は、スポーツ、部活動等よく運動に取り組んでいる。	4.3	・生徒はよく運動に取り組み、意欲があると思いますが、学校（教職員）がそれに応え切れていない所があるように感じます。特に部活動に関して。 ・これも個人差があると感じます。意欲的に取り組んでいる子と、そうでない子、サボってしまう子が見受けられます。 ・部活動の再編や地域移行など、保護者の皆様は心配されるようなので、今後、丁寧な説明が必要になってくると思います。 ・良好な大会結果などもあり、しっかり努力できる生徒が多いと感じます。 ・コロナの影響もあり、大変な中、頑張っています。今後、中学校の部活がどうなっていくのか心配です。
家庭・地域連携	学校は、地域の特色を生かし取り入れた教育活動を展開している。		4.3	・皆中が「みな学の」の一つの核となって欲しいと思います。 ・「みな学の」の推進は、負担感を持つ職員もいるかもしれませんが、大切なことだと思います。 ・皆野町及び教育委員会と積極的に連携しており、今後の展開が楽しみです。 ・「みな学の」をはじめ、地域の方々に協力を仰ぎ、活動をされていると感じます。 ・「みな学の」は少しずつ浸透してきたのではと感じます。少なくとも生徒には伝わっている。
	学校は、学校だより・HP・メール配信等を利用し、情報提供を積極的に行っている。		4.2	・「皆中だより」を楽しみに読ませていただきました。 ・昨年度に比べて、HPの活動の様子の更新回数が増えたと思います。 ・わかりやすく情報を公開しており、学校・生徒の様子がよく伝わってきます。 ・メール配信を頻繁にしてくださり、ありがたく思います。ただ、何か行事がある際に、学級・学年だよりが直前すぎて少々焦る場合があります。 ・行っていると思う。地域の人にも、積極的に知ろうとする方には理解されると思う。
7 課 題 ※ 皆野中学校の問題点や課題についてお書きください。				
・生徒や保護者の意見を大切に、部活動を良い方向に変革して行って下さい。 ・不登校生徒数を減らすことだと思います。 ・地域の人口減少に伴う生徒減及びそれに影響される学校全体の活況維持は、今後の大きな課題だと思います。 ・不登校の生徒が増えていると聞きます。その際、オンラインなら出席できるのか。その場合の出席扱いはどうなるのか。そのあたりが、今後の課題になってくると思います。それから先生方の負担がいかに軽減できるか。ということも課題の一つだと思います。 ・教職員が生徒の事に集中できる環境をつくること。地域のことや保護者のことなど仕事内容が多岐にわたるが、負担になりすぎないようにうまくやれればと思う。				
8 来年度に向けて ※ 来年度に向けて、ご意見をお書きください。				
・職場体験学習が復活できるといいです。 ・「部活動の地域移行化」に向けて、たくさんの変化を求められると予想されます。できれば、活動場所は今まで通り皆野中学校中心にしたい。また、外部指導の方にきていただける環境が望ましいと思います。また、町営バスと連携して、送迎バスなどがあると、保護者の方々の負担も少なくなる気がします。それから「4高校見学会」は、必ず実施する行事として、特に2年生でやっていただきたいと感じました。1年生のうちだと、中学生になったばかりで、高校というものにまだピンときていないからです。2年生で受験を意識し始めたときの方が、効果的だと感じました。 ・地域資源（高校も含め）を活用した教育活動を研究・実践することで子供たちに豊かな学びの環境を提供し続けることができると思います。先生方が元気に子供たちを導いていただき、さらに素敵な皆中に発展することを期待します。 ・来年度に向けてというより、今後に向けてということになるかもしれませんが。保護者の自由記述欄にも部活関連の記述が多くありました。教職員の働き方改革、生徒数の減少などもあって部活動の整理縮小は避けられないことかもしれませんが。ただどうやって整理縮小するかではなく、なんとか存続し、外部指導者の活用も含めて、どうやったらいい部活動ができるかを考えて欲しいと思います。もうやっていることかもしれませんが、部活動に関して保護者及び当事者である生徒自身の考えもぜひ聞いて欲しいと思います。				

様々なご意見を真摯に受け止め、これからも学校運営の充実を図ってまいります。今回実施した学校評価に基づき、全職員が検討、協議して来年度への準備を進めています。たくさんの方の貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。